

第4学年 総合的な学習指導案		授業者	場所	4年生 広場
単元名	ともに生きる～あたたかいまち『いけだ』をめざして～		本時	14/25
ねらい	視点別に調べて考えた内容を作業療法士の廣瀬さんと理学療法士の藤橋さんに提案することを通して、専門的な立場から助言をもらい、さらに考えを深めることができる。			
過程	本時の展開			
	学習内容	指導・援助 ※評価規準		
つかむ (4)	1 これまでの学習を振り返る ・各場面ごとに考えたことを振り返る	<ul style="list-style-type: none"> <li>各視点ごとに調べチームの中で役割分担（障がいのある人、支える人、客観的に見る人）で調べ、考えたことを価値付ける。</li> <li>本時の授業展開を話して、児童に見通しがもてるようにする。</li> <li>アドバイスをもらい、実際にもう一度やってみることで、障がいがある人がどんな気持ちになるかに気付くことができるとよいことを話す。</li> <li>目の不自由チームは、4年生広場へ足の不自由なチームは、3年生広場へ移動する。</li> <li>提案4分、アドバイス3分を目安に行い、実際にやってみせたり、ミニ黒板を指したりするなど、表現豊かに提案している姿を価値付ける。</li> <li>アドバイスをメモをしている姿を価値付ける。</li> </ul>		
	2 本時の課題を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分たちが考えたことを提案し、アドバイスをもらって、さらに考えよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">考えるヒント つなげる サポートすること サポートするもの</div>			
調べ、考える (36)	3 目の不自由なチームと足の不自由なチームに分かれて提案する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(目の不自由な人) (勉強) 2チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体験して分かったことは、体育と図工が一番大変。音が頼りだから、うるさいと聞こえない。見えないから、危険が迫っていても分からない。だから、やさしく声をかけたり、危ない時は、誘導したりする。サポートできるものは点字。</li> </ul> <p>(食べる) 2チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食べものの場所が分からないし、何の食べものか分からない。手を動かしても当たって落としてしまうから、道具は決まった場所に置くことで取りやすくなる。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(足の不自由な人) (移動) 3チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドアを開けるときに正面では足を乗せる所と小さいタイヤが当たって横にならないとドアが開けられない。一人では段差が上がれないから、2人で持ち上げる。</li> </ul> <p>(本を借りる) 1チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書室に車いすで行くと、狭い所が通りにくい。高い所にある本は取れないから、高い所にある本は、とってあげる。車いすに乗って、字を書こうとすると、猫背にしないと書けない。車いすを押してあげて声をかけてあげたい。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師は、アドバイスの内容を簡単に整理して、他のチームにやってみるように声をかける。</li> <li>対話チームで、A:障がいがある人 B:サポートする人、C:客観的に気付いたことを見つける人の役割をできるだけ、全てできるように教師は、残りの時間を伝える。</li> <li>教師は、目の不自由チームと足が不自由チームに別れて、調べ学習の様子を見ながら、困っているチームにアドバイスをする。</li> <li>考える視点の2つと、心の持ち方から振り返り、まとめを書くようにする。</li> </ul>		
	4 アドバイスを基に、実際に調べる。 ・声の掛け方を変えることで、こんなにも気持ちが変わるのがよく分かった。 5 AさんとBさんの話を聞く ・Aさんは、目の不自由人に接する時、Bさんは、足の不自由な人に接する時の心の持ち方に対して話を聞く。			
まとめ (5)	6 本時で学習した内容をまとめる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">(例) 目の不自由な人 勉強 目の不自由な人には、音声認識のようなタブレットを使って、耳で学習することができることが分かった。そして、特に初めての場所だと不安が強いことも分かったから、思いやりの気持ちでたくさん声をかけてあげるようにしたい。</div>			



4年生 総合的な学習の時間 テーマ～ともに生きる～あたたかいまち『いけだ』をめざして～  
単元指導計画

(願う姿)

- ・各教科等で学んだことを生かして、体験や調べ学習をすることができる。
- ・探究的な見方・考え方を生かして、触れ合う事象から新たな気づきを生み出し、表現する。
- ・障がいのある人や支える人の生き方を通して、人を思いやる気持ちを深める。

各教科との関連

学級目標『思いやり 男女仲よく呼びかけ合いだれとでも協力し 最後までやりぬくクラス』  
国語『聞き取りメモの工夫』  
道徳『思いやり』って  
対話の心『あたたかく 力を合わせて やる気』

(障がいについて知る) (1 1時間)

- ① 車いすツインバスケットの体験をする (1時間)
- ② 車いすの生活についての話を聞く (1時間)
- ③ 体験したことや分かったことをまとめる (1時間)
- ④ お礼の手紙を書く (1時間)
- ⑤ アイマスク体験をする (1時間)
- ⑥ 点字について調べる (1時間)
- ⑦ ふれあいの家について調べる (1時間)
- ⑧ ふれあいの家で見学し話を聞く (2時間)
- ⑨ 見学したことや分かったことをまとめる (1時間)
- ⑩ お礼の手紙を書く。(1時間)

(学習課題を作り、調べ、考える) (8時間)

⑪学習課題を設定する。(1時間)

わたしたちのまち『いけだ』はしょうがいのある人にとって、やさしい町になるには、どうしたらいいだろうか。

- ⑫障がいのある人と一緒に学校で過ごす時にサポートできることとサポートできる物を考えよう (3時間)
- ⑬サポートする専門の人に考えたことを提案し、さらに考えよう (1時間)
- ⑭学校のまわりで、サポートできることとサポートできるものを考えよう (3時間)

(調べ考えたことをまとめ、発表しよう) (6時間)

- ⑮社会福祉協議会に提案する内容をまとめよう (2時間)
- ⑯社会福祉協議会の人に提案しよう (2時間)
- ⑰全ての学習を通して学んだことを新聞にまとめよう。(2時間)